

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年1月28日（火）

2 確認箇所

- ・5・6号機サプレッションプール水サージタンク脇
- ・5号機原子炉建屋西側ヤード

3 確認項目

海側ヤードに保管されているドラム缶の状況

4 確認結果の概要

前回（令和元年5月7日）、東北地方太平洋沖地震で発生した津波により損壊した重油タンク等から流出した重油の一部を海水と共に回収し、それらを保管したドラム缶がシート養生されていた状態で保管されていることを確認した。

東京電力によると、当該ドラム缶の内包水等については重油分を吸着剤で除去し、残りを別なドラム缶に詰め替えて保管場所を変更したとのことであったため、状況を確認した。

- ・前回ドラム缶が保管されていた場所にはドラム缶は見られず、ドラム缶は全て撤去されていた。（図1、写真1）
- ・内包水等を詰め替えたドラム缶は5号機原子炉建屋西側ヤード（屋根付き）に保管されていた。（図1、写真2）
- ・東京電力によると、撤去したドラム缶は減容し、構内の廃棄物保管エリアへ移動したとのことである。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
前回の状況
(令和元年5月7日撮影)

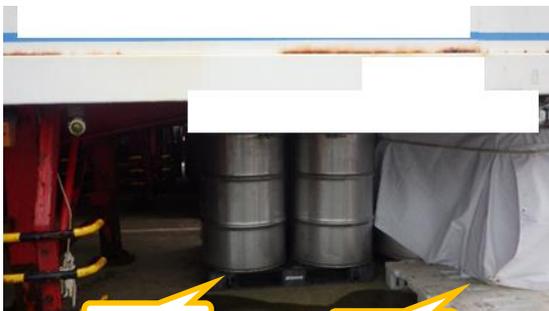


(写真1-2)
今回の状況
(令和2年1月28日撮影)



保管されているドラム缶

(写真2-1)
屋根の外側に近いドラム缶はシート養生されていた



パレット

パレット

(写真2-2)
パレットが敷設され、その上にドラム缶が保管されていた

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。